

新たな農業で遊休地活用へ シルバー人材センター主導では全国初

◎写真あり

今年6月から公益社団法人枚方市シルバー人材センターが高床式砂栽培農業施設「トレファーム®」の運営を開始した。同施設は東レ建設株式会社が開発した施設で、地面ではなく高床式の農業用ベッドに砂を敷き詰め野菜の苗を定植し、腰をかがめずに作業ができる。また、水やり・施肥作業が遠隔操作できる設備が整っていることなどから高齢者などにも優しく、新たな農業スタイルとなっている。市が抱える問題の一つである休眠中の田畑などの遊休地活用事業として市の補助金を活用し実施するもので、シルバー人材センター主導としては全国初となる。ファームでの野菜の栽培・収穫は軽い運動につながり、健康増進や生きがいとなるとともに介護予防につながるものと期待される。

7月19日(水)午前10時から、同ファームでオープニングセレモニー「収穫祭」を開催

★枚方市シルバー人材センター(以下、シルバーという。)が運営する「ひらかたシルバーはたけ倶楽部 ふくろうファーム 山之上編(以下、ファームという。)」は東レ建設株式会社が開発した砂栽培農業施設「トレファーム®」を取り入れている。同施設は農業用ビニールハウスの中に建設現場の足場材を活用した高床式ベッドを設置し、地面ではなく高床式ベッドに砂を敷き詰め、その栽培ベッドに野菜の苗を植栽するもの。灌水や砂地の施肥状況、温度についても遠隔操作で確認でき、自動化できる。従来の農作業とは違い腰をかがめずに作業ができ、面倒な水やりや施肥作業も遠隔操作などでできるため、高齢者にやさしい農業スタイルとなっている。砂地も洗浄により連作も可能な廃棄物が少なくSDGsに即した新たな農業である。また、足場材を利用することで高低差のある土地にもそのまま敷設できるため、市が抱えていた遊休地の活用事業として今回、運営を開始した。

★場所は山之上2丁目の市街化調整区域内。京阪バス山之上バス停からも近く、シルバーからも1.5キロしか離れておらず、会員も通いやすい。会員は当番制で、週2~3日の就業を予定している。

★ファームはシルバーの自主事業で、1年目は安定した収穫を目指す。将来的には周辺に路地栽培の畑も開墾し、ファームで収穫した野菜とともに移動販売を実施。シルバーの新たな財源確保の一つとして検討している。

(次頁あり)

★オープニングセレモニー「収穫祭」

内容：代表者の挨拶及び出席者による野菜の収穫など

日時：7月19日（水）午前10時から

場所：ひらかたシルバー はたけ倶楽部 ふくろうファーム 山之上編
（枚方市山之上2丁目1008番地）

出席者：（公益社団法人枚方市シルバー人材センター）今村恒雄理事長ほか
（枚方市）伏見市長ほか

※雨天時はテント内で規模を小さくして開催



▲ファームの外観



▲ファームの中



▲栽培中のレタス（写真左）と水菜（同右）

<お問い合わせ>

健康福祉部長寿・介護保険課 ☎：072-841-1461 FAX：072-844-0315